

岡山商科大学と山口大学の学生が春期北房お大師巡りの調査に参加

真庭市北房にて、北房お大師巡り（春の部）が行われました。AZAE プロジェクトの一環として、農泊の滞在型プログラムに組み込むことを目標に、実際に北房お大師巡りを体験しながら、ルートマップ作成や観光プログラム作成のための調査をしました。

自転車で札所の順番をあまり気にせずに進むチームと、自動車で札所の順番通りに進むチームの2チームに分かれ、調査を行いました。

1. 北房お大師巡りの概要

北房お大師巡りは、春と秋の年2回開催されている北房の伝統行事です。北房に点在する八十八カ所の寺院やお堂を参拝します。

今回のお大師巡りでは、岡山商科大学と山口大学の学生たちが3日ある内の2日間調査をしました。

(1) 開催日時

平成31年4月19日（金曜日）～21日（日曜日）

(2) 場所

真庭市北房地区

(3) 参加者

岡山商科大学 学生 5名

山口大学 学生 3名

2. 学生の感想（一部抜粋）

北房お大師巡りに関する岡山商科大学の学生の感想を以下に一部取り上げました。

- 私は自転車で回るチームでした。スタート地点の寺院にたどり着くのも一苦勞で、案内板設置や地図を見やすくすることが課題であると感じました。
しかし、自転車でのんびりとお大師巡りをするのは、とても楽しかったです。前回、お大師巡りの調査に参加した際は、自動車で回って、途中から完全に作業を淡々となすだけのようになっていました。今回は地元の方たちと十分に交流ができ、素敵だと思った景色のところまで止まり存分に堪能できました。北房の風景や空気をより深く感じ取ってみたいのなら、自転車で回ることを強くおすすめしていきたいです。
そのためにも、課題の解決にいち早く取り組んでいきたいです。